

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記③

国立市立国立第七小学校

平成27年5月28日 NO.24 (224)



花ちゃん 「あれあれ？これは何ですか。エイリアンみたいですよ。」

オー君 「エイリアンではないよ。これはヤゴだよ。つまり、トンボの幼虫さ。たぶんオニヤンマだね。」

花ちゃん 「へえー。ヤゴを見ただけでトンボの名前がわかるなんて、やっぱりオー君は昆虫ものしり屋さんですね。」

オー君 「あのね、これだけ大きなヤゴといえば、やっぱりオニヤンマ系だね。よく見ると、体のまわりにたくさんの毛が見えるだろう。これも特徴だね。」

花ちゃん 「このヤゴどうしたのですか。」

オー君 「これはね、4年生のSくんが谷保天神の近くの川で見つけたらしいよ。」

花ちゃん 「へえー。それはすごいですね。ところで、ヤゴはいつ『さなぎ』になるの。」

オー君 「おっととと……。トンボは不完全変態といって、さなぎにはならないんだ。」

モンタ博士 「そのとおりだね。チョウやカブトムシは、完全変態で途中でさなぎになるけど、トンボやバッタやカマキリなどは、幼虫からそのまま成虫になるんだ。」

花ちゃん 「へえー。そうなんですか。ところで、上の写真の左側は、ちょっとちがうような感じですが、何をしているのですか。」

モンタ博士 「これがおもしろいんだよ。えさが近づくとね、ヤゴは突然下口びるを伸ばしヒョイツとつかまえてしまうんだ。これはなかなかの見ものなんですよ。」

いちど、花ちゃんにも見せてあげたいな。その様子は、まるで、エイリアンの  
ようで、<sup>はくりよくまんてん</sup>迫力満点なんだよ。」

花ちゃん 「ぜったいに見たいです。ところで、<sup>ほか</sup>他にもいろいろな<sup>しゃしん</sup>写真がありますね。」



オー君 「カエルは、1年生のMさんが見つけて持ってきて見せてくれたんだ。」

花ちゃん 「こうやって見ると、とてもかわいい顔をしていますね。」

オー君 「<sup>め</sup>目の横がちょっと<sup>くろ</sup>黒いすじになっているのが<sup>とくちょう</sup>特徴で、これは、ニホンアマガエルなんだ。」

花ちゃん 「カエルのとなりにも何かいますね。トカゲ？イモリ？ヤモリかな？」

オー君 「カナヘビだよ。2年生のSくんが持ってきて見せてくれたんだ。」

花ちゃん 「ずうっと前に、『<sup>まへ</sup>四つ足の<sup>あし</sup>生き物』として、<sup>くにたち</sup>国立てくてくにのってましたね。」

モンタ博士 「そうだね。『<sup>くにたち</sup>国立てくてくのNO.19』で<sup>よ</sup>四つ足の<sup>あし</sup>生き物<sup>い</sup>けんさく<sup>もの</sup>を見れば、  
ばっちりわかるよ。」

花ちゃん 「うわあー！ヘビ！こわい！」

オー君 「このヘビは2年生のHくんが<sup>み</sup>見つけたらしいのさ。<sup>くび</sup>首の<sup>まわ</sup>りに<sup>きいろ</sup>黄色いすじがあるだろう。だから、  
ヤマカガシかもしれないんだ。」

モンタ博士 「ヤマカガシだったら、<sup>どく</sup>毒もあるから<sup>て</sup>手でさわったりしないで<sup>き</sup>気をつけよう。それから、<sup>い</sup>生き物と<sup>あそ</sup>遊んだ後は、<sup>あと</sup>必ず<sup>かなら</sup>手を<sup>て</sup>あらうことを<sup>わす</sup>れな

